

美術部 岐阜県青少年美術展 青年部 絵画部門

最優秀賞 受賞「導線の先にあるもの」

令和 8 年 7 月 5 日(日)

岐阜県の青少年美術展青年部の絵画部門で、美術部員の大野莉穂さん（3 年次生）が制作した作品が最優秀賞を受賞しました。

今年は青年部だけでも 1124 点の応募があり、5 つの部門（絵画、立体造形、デザイン、書道、写真）で最優秀賞が部門ごとに 1 点ずつ選ばれ、7 月 5 日に最優秀賞受賞者の表彰式が岐阜県美術館で行われました。応募した美術部員は 5 名全員入賞・入選し、守屋笑流さんはデザイン部門 優秀賞（※1）、田邊柚乃さんはナンヤローネ賞（※2）を受賞しています。

また、書道部門では書道部員 4 名の作品が入選しました。

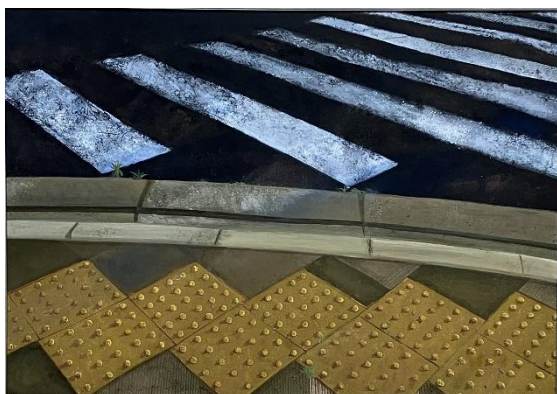
なお、最優秀賞を含む入賞・入選作品は 7 月 4 日～12 日に同美術館で展示され、大野さんの作品は 7 月 16 日から 8 月 5 日まで岐阜県庁 20 階展望ロビーで展示されます。



※1



※2



最優秀賞作品『導線の先にあるもの』



表彰式の様子

青年部【絵画部門】最優秀者 大野莉穂さんの受賞の感想

今でも信じられません。このような賞がいただけるなんて。人々に踏まれゆくうちに横断歩道の色が薄れ、点字ブロックの突起が欠けていくという時の流れを表現しました。特に、点字ブロックが自然に汚れ、欠けたように表現することが難しかったです。今後もずっと絵を描き続けていきたい私にとって、この経験は大きな糧になると思っています。